

第2回錯覚ワークショップ

--- 横断的錯覚科学をめざして ---

2010年3月16日(火), 17日(水)

明治大学駿河台キャンパス紫紺館3階会議室

(JR御茶ノ水駅から徒歩5分 http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide)

入場無料(ただし懇親会は会費制)

3月16日(火)

- 13:00-14:00 「可視化における錯視の役割」
高橋成雄 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)
- 14:00-15:00 「錯視と3次元知覚」
出澤正徳 (電気通信大学UECコミュニケーションミュージアム)
- 15:30-16:30 「音はいつ始まり、いつ終わる？」
--- 合成楽器音、合成音声を用いたデモンストレーション ---
中島祥好 (九州大学大学院芸術工学研究院)
- 16:30-17:30 「ギャンブルと錯覚」
--- 勝負における利得と損失の甘いヨミはどこから来るか ---
谷岡一郎 (大阪商業大学学長)
- 18:00-19:30 懇親会 (会費4,000円、要予約)



視覚



聴覚



可視化



メディア

から



ギャンブル



投票行動

まで

3月17日(水)

- 10:00-11:00 「坂道錯視の研究」
對梨成一 (立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構)
- 11:00-12:00 「『誠実な投票』に基づく国政選挙の実証研究について」
岸本一男 (筑波大学大学院システム情報工学研究科)
- 13:00-14:00 「コンピュータグラフィックス, 可視化技術への錯視の応用」
斎藤隆文 (東京農工大学大学院共生科学技術研究院)
- 14:00-15:00 「錯覚とデジタルコンテンツ」
宮下芳明 (明治大学理工学部)
- 15:00-16:00 「『残効』が解き明かす視覚のメカニズム」
竹内龍人 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所)